

第23期新宿区社会教育委員の会議 第3回小委員会 会議結果

視点3「心理的負担を軽減するための支援」について、「様々な事情を抱える子どもたちが相談できる場の提供」と「地域とのつながりを大切にした居場所づくり・多様な人材と出会える場の提供」という角度から第5回定例会で検討を行い、以下の内容でまとめていくことにした。

1 様々な事情を抱える子どもたちが相談できる場の提供について

第5回定例会で出たそれぞれの提言に加え、以下の内容を盛り込んでまとめていく。

- ・相談できる場は提供されているので、そこに実際につなげることが重要であり、そのためには関係機関の情報共有が必要である。
- ・気軽に相談できる機会を持つために、相談機関に行かなくても雑談の中で相談できるような人との関わりを作っていくことも大切である。
- ・保護者同士が集まって互いに話し合える場所もあるとよい。

2 地域とのつながりを大切にした居場所づくり、多様な人材と出会える場の提供について

第5回定例会で出たように、学校の中で地域人材と一緒に活動する機会を持つことや、地域協働学校や育成会を活用することの重要性に加え、以下のような可能性としてのアイデアも提言としていく。

- ・区の施設に人が集まりやすい要素を加え、気軽に行って語ったり交流したりできる場所にしていく。
- ・公園の活用も検討する。公園の中に相談できるコーナーを作る、プレイリーダーの活動を推進する等、公園で人とのつながりを作っていく活動も実施する。
- ・人との関わりに悩みを持つ子どもに対してはオンラインで人間関係づくりを学び、そこから社会につなげていく等、オンラインも活用していく。

また、子ども同士交流する場が減少していることを踏まえ、社会全体で子どもを育てることが基本であることも盛り込み、まとめることとした。